

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

教科担当者：（A組：町田 ）（B組：町田 ）（C組：町田 ）（D：町田 ）

使用教科書：（ MOUSA 1 教育芸術社 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、音楽の能力の向上を図り、音楽の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	「鑑賞」「歌唱」「器楽」「創作」各領域において、音楽の基礎的な知識を活用して音楽的な表現への理解を深める。	音楽の関心を持ち、人と音楽関係性を考え、積極的に「音」の楽しさを認識させ、充実した表現活動へつなげる態度を身の付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数							
		歌	器	創													
1 学 期	A 単元 オリエンテーション 【知識及び技能】 音楽の効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の好きな曲のよさを考え他者と共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な音楽への興味をもち、音楽の作りの違いを見つけ主体的に取り組む。	・指導事項 身近にある「音楽」について考え、音楽によって表現されるものについて他者と共有・共感する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等			○	○				○	○	○	2				
	A 単元 想像の音楽を体で表現しよう 【知識及び技能】 体の音や表現方法について考え、特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グループごとに奏法や表現を決め、アンサンブル能力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な楽器で作り出す音楽で、楽しさと他者との調和を意識し取り組む。	・指導事項 ボディ・パーカッションや身近にあるコップなどを用いた表現を通して音色や奏法を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等			○	○							○	○	12		
	A 単元 曲に合う歌い方 【知識及び技能】 歌ったり互いに聴いた合ったりしながら曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを考えながら表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声・発音などに留意して歌い表現に必要な技能を身に付ける。	・指導事項 Jpopや歌謡曲を取り上げ曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、イメージをもって歌うことと自分の社会と音楽の関わりを考える。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等			○								○	○	○	10	
2 学 期	A 単元 音楽史 【知識及び技能】 世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの音楽共通点や固有性について考えてことを述べる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽の歴史について、他の理解を深め、他の芸術との関わりを積極的を知る。	・指導事項 曲想や表現上の効果と音楽の特徴を文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等				○							○	○	○	14	
	A 単元 アンサンブル演奏 【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを考えながら演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 各パートの役割を理解し、全体のハーモニーをイメージする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。	・指導事項 各パートの役割を理解するとともに全体の響きをイメージしながら表現を工夫し、アンサンブル演奏を行う。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等				○								○	○	○	14
3 学 期	A 単元 アルトリーダー演奏 【知識及び技能】 曲に相応しい奏法、表現に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 曲に相応しい奏法を考えだす。	・指導事項 リコーダーの奏法を身に付けるとともに曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等				○								○	○	○	18
													合 計				
														70			